



平成23年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年2月9日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 九州リースサービス
コード番号 8596 URL <http://www.k-lease.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤丸 修
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員業務本部長 (氏名) 山下 伊佐夫

TEL 092-431-2530

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	14,661	15.1	928	51.4	752	60.1	569	37.0
22年3月期第3四半期	17,262	20.8	1,909	28.6	1,884	24.4	904	87.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年3月期第3四半期	18.29	
22年3月期第3四半期	28.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年3月期第3四半期	133,298	16,110	12.1	516.56
22年3月期	133,354	15,811	11.8	506.99

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 16,097百万円 22年3月期 15,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年3月期		0.00		7.50	7.50
23年3月期		0.00			
23年3月期 (予想)				7.50	7.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	20,000	12.8	1,000	54.4	600	70.4	700	3.9	22.46

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.3「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 37,143,374株 22年3月期 37,143,374株

期末自己株式数 23年3月期3Q 5,980,316株 22年3月期 5,978,891株

期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 31,163,940株 22年3月期3Q 31,245,779株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、予想数値に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
営業資産残高（連結）	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善によって景気は回復傾向にあるものの、設備投資需要の低迷、円高の影響など依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような中、当社グループでは収益性や安全性の高い良質資産の獲得を重視した取引を推進し、安定収益基盤の構築を目指してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、リース部門の資産残高減少などにより売上高は14,661百万円(前年同期比15.1%減)となり、貸倒引当金繰入額の増加などにより、営業利益は928百万円(前年同期比51.4%減)となりました。また、前年同期に比べ投資有価証券売却益が減少したことなどにより経常利益は752百万円(前年同期比60.1%減)となり、四半期純利益は569百万円(前年同期比37.0%減)となりました。

セグメントの業績の概要は以下のとおりであります。

① リース・割賦

商業・サービス業用機械設備の取扱いが伸長したことから、リース・割賦実行高は10,725百万円(前年同期比16.6%増)となり、割賦債権残高は11,325百万円(前期末比6.6%増)となりました。一方、リース債権及びリース投資資産残高は回収や流動化などにより18,712百万円(前期末比8.2%減)となりました。この結果、売上高は7,819百万円となり、営業利益は791百万円となりました。

② 融資

新規貸出の抑制や期限前回収の発生などにより貸付残高が減少し、売上高は1,114百万円となり、貸倒引当金繰入額の増加により344百万円の営業損失となりました。なお、営業貸付金残高は29,869百万円(前期末比15.0%減)となりました。

③ 不動産

前連結会計年度から新たに連結した子会社からの増収効果はありましたが、不動産売却収入の減少などにより売上高は4,728百万円となり、営業利益は766百万円となりました。なお、賃貸不動産残高は37,938百万円(前期末比0.0%増)、販売用不動産残高は6,866百万円(前期末比11.7%減)となりました。

④ フィービジネス

自動車リースの紹介に伴う手数料収入は増加いたしましたが、不動産投資案件からの手数料収入の減少などにより売上高は283百万円となり、営業利益は105百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は133,298百万円(前期末比0.0%減)と前連結会計年度末に比べ56百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の増加7,204百万円、割賦債権の増加698百万円、リース債権及びリース投資資産の減少1,678百万円、営業貸付金の減少5,284百万円、販売用不動産の減少908百万円などであります。

負債合計は117,188百万円(前期末比0.3%減)と前連結会計年度末に比べ354百万円の減少となりました。これは主に借入金の減少4,258百万円、社債の増加3,958百万円などであります。

純資産合計は16,110百万円(前期末比1.9%増)と前連結会計年度末に比べ298百万円増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7,244百万円増加し18,672百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、リース債権及びリース投資資産の減少による収入1,476百万円、営業貸付金の減少による収入3,722百万円、賃貸資産の売却による収入947百万円などが主要なものであり、全体では8,365百万円の資金流入となり、前第3四半期連結累計期間に比べ2,410百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出707百万円などにより、全体では420百万円の資金流出となり、前第3四半期連結累計期間に比べ676百万円の支出減となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に有利子負債の減少や配当金の支払に伴うものであり、全体では699百万円の資金流出となり、前第3四半期連結累計期間に比べ6,709百万円の支出減となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成22年11月11日発表の業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 販売用不動産の簿価切下げにつきましては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積る方法を採用しております。
2. 繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングに重要な変更を加味したものを利用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であり、税金等調整前四半期純利益は4百万円減少しております。

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,722	11,518
割賦債権	11,325	10,627
リース債権及びリース投資資産	18,712	20,391
営業貸付金	29,869	35,153
貸貸料等未収入金	294	318
有価証券	—	39
販売用不動産	6,866	7,775
その他	2,543	2,230
貸倒引当金	△1,720	△1,798
流動資産合計	86,616	86,255
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸不動産（純額）	37,938	37,919
その他（純額）	31	10
貸貸資産合計	37,969	37,930
社用資産	1,396	1,427
有形固定資産合計	39,366	39,357
無形固定資産	603	765
投資その他の資産		
投資有価証券	3,885	4,497
その他	2,839	2,490
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	6,712	6,976
固定資産合計	46,682	47,099
資産合計	133,298	133,354

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,369	727
短期借入金	58,415	66,296
1年内償還予定の社債	3,227	1,934
未払法人税等	46	51
引当金	62	123
その他	2,428	2,503
流動負債合計	65,548	71,637
固定負債		
社債	8,249	5,584
長期借入金	38,289	34,667
引当金	322	292
その他	4,777	5,361
固定負債合計	51,639	45,906
負債合計	117,188	117,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,933	2,933
資本剰余金	822	822
利益剰余金	15,064	14,728
自己株式	△2,381	△2,380
株主資本合計	16,439	16,103
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△166	△78
繰延ヘッジ損益	△175	△225
評価・換算差額等合計	△341	△303
少数株主持分	12	11
純資産合計	16,110	15,811
負債純資産合計	133,298	133,354

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	17,262	14,661
売上原価	13,030	11,079
売上総利益	4,232	3,582
販売費及び一般管理費	2,323	2,654
営業利益	1,909	928
営業外収益		
受取利息	57	62
投資有価証券売却益	142	51
受取補償金	89	—
その他	109	99
営業外収益合計	399	213
営業外費用		
支払利息	285	248
その他	138	140
営業外費用合計	424	389
経常利益	1,884	752
特別利益		
賃貸不動産売却益	32	—
特別利益合計	32	—
特別損失		
賃貸不動産売却損	—	9
減損損失	—	91
投資有価証券評価損	150	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4
特別損失合計	150	113
税金等調整前四半期純利益	1,766	639
法人税、住民税及び事業税	18	50
法人税等調整額	842	17
法人税等合計	861	68
少数株主損益調整前四半期純利益	—	570
少数株主利益	0	1
四半期純利益	904	569

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,766	639
減価償却費	755	754
減損損失	—	91
賃貸不動産売却損益(△は益)	△32	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	460	840
引当金の増減額(△は減少)	△102	△31
受取利息及び受取配当金	△77	△97
資金原価及び支払利息	1,737	1,535
投資有価証券評価損益(△は益)	150	7
投資有価証券売却損益(△は益)	△142	△43
割賦債権の増減額(△は増加)	1,360	△792
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	3,732	1,476
営業貸付金の増減額(△は増加)	△2,484	3,722
販売用不動産の増減額(△は増加)	435	908
賃貸資産の取得による支出	△1,588	△1,746
仕入債務の増減額(△は減少)	△472	641
賃貸資産の売却による収入	1,189	947
その他	810	904
小計	7,499	9,773
利息及び配当金の受取額	23	37
利息の支払額	△1,561	△1,406
法人税等の支払額	△6	△39
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,954	8,365
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△160	—
定期預金の払戻による収入	—	40
社用資産の取得による支出	△22	△52
無形固定資産の取得による支出	△14	△34
投資有価証券の取得による支出	△650	△707
投資有価証券の売却及び償還による収入	301	310
出資金の払込による支出	△1	△2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△535	—
その他	△14	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,097	△420

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,525	△2,121
長期借入れによる収入	26,423	27,623
長期借入金の返済による支出	△26,287	△29,760
債権流動化の返済による支出	△207	△115
社債の発行による収入	2,500	5,542
社債の償還による支出	△6,960	△1,634
自己株式の取得による支出	△114	△0
配当金の支払額	△236	△232
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,408	△699
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,551	7,244
現金及び現金同等物の期首残高	12,668	11,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,117	18,672

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	リース 事業 (百万円)	融資 事業 (百万円)	不動産 事業 (百万円)	フィー ビジネス 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	9,987	1,238	4,843	566	627	17,262	—	17,262
営業利益(△営業損失)	505	271	1,055	455	△11	2,277	(367)	1,909

(注) これら事業区分に属する主な内容は、次のとおりであります。

事業区分	事業内容
リース事業	機械設備等のリース（リースの満了・中途解約に伴う物件販売を含む）及び割賦販売
融資事業	金銭の貸付、債権の買取
不動産事業	不動産の賃貸、不動産の販売、匿名組合等に対する出資
フィービジネス事業	生命保険の募集、自動車リースの紹介、不動産関連サービスの提供、損害保険代理業等
その他事業	ゴルフ場の管理経営、物品販売等

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

リース・割賦セグメントは、機械設備等のリース及び割賦販売、融資セグメントは金銭の貸付及び債権の買取、不動産セグメントは、不動産の賃貸、不動産の販売、匿名組合等に対する出資、フィービジネスセグメントは、生命保険の募集、自動車リースの紹介、不動産関連サービスの提供、損害保険代理業等の事業活動を展開しております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	リース・ 割賦	融資	不動産	フィー ビジネス	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,819	1,114	4,728	283	13,945	716	14,661	—	14,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,819	1,114	4,728	283	13,945	716	14,661	—	14,661
セグメント利益又は 損失(△)	791	△344	766	105	1,317	5	1,323	△395	928

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場の管理経営、物品販売等を含んでおります。

2 セグメント利益調整額△395百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

営業資産残高 (連結)

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間末	
	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
リース・割賦		
ファイナンス・リース	18,712	19.0
オペレーティング・リース	31	0.0
リース計	18,744	19.0
割賦販売	11,325	11.5
リース・割賦計	30,070	30.5
融資	29,869	30.4
不動産		
オペレーティング・リース	37,938	38.6
その他	516	0.5
不動産計	38,454	39.1
合計	98,394	100.0